

事業概要シート

施策 1801 道路網の整備

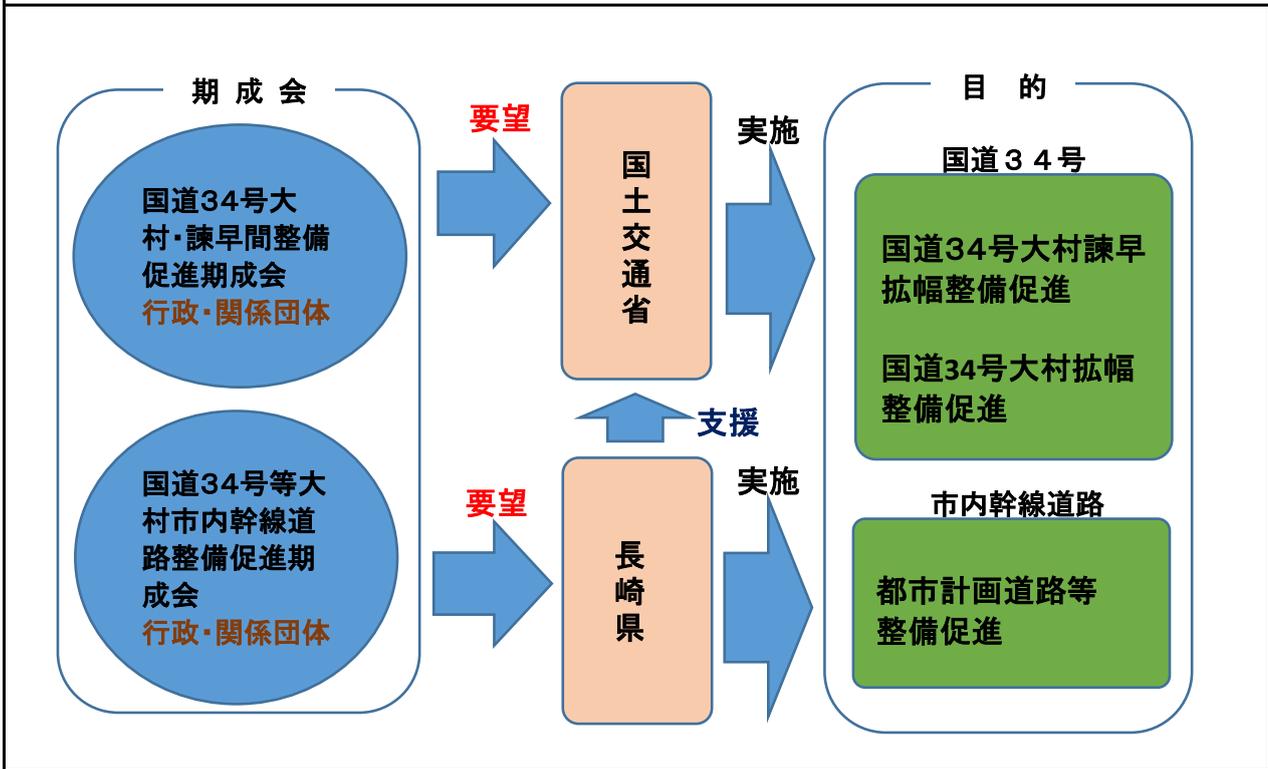
《 》の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	国道34号等拡幅整備促進事業	現状維持	予算額	2,934 千円
				《 》 3,082 《 》千円
事業期間	平成31年度 ~	財源内訳	国庫支出金	千円
			県支出金	千円
根拠法令要綱等			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	2,934 千円

【事業の目的・概要・対象】

国、県等の関係機関に対して要望活動を行うことにより、国道34号及び都市計画道路等の整備促進を図る。現在、2つの期成会を組織し、活動を行っている。

- (1) 国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会
 市、市議会、商工会議所等の12団体を会員として構成する組織。
 会員からの負担金を拠出し、県及び国土交通省に対し、国道34号はじめ、市内幹線道路の整備促進・早期完成について要望活動を実施する。
- (2) 国道34号大村・諫早間整備促進期成会
 国道34号大村諫早拡幅の事業を強力に推進するため、大村・諫早両市の15団体で組織。
 両市で負担金を拠出し、国土交通省、財務省及び地元選出国會議員等に対し、官民一体となって強力な要望活動を実施する。



【背景】

国道34号大村諫早拡幅や大村拡幅事業、市内幹線の都市計画道路等の整備について、予算の確保等、整備促進を図るには、国等への要望活動が不可欠である。
 ※昨年3月末に、待望の新規事業化が決定し、国土交通省において、4車線化に向け事業に着手されているところである。今後は、早期の4車線化を実現するため、予算の確保に向けて要望活動を行っていく。

担当課	都市整備部 都市計画課	課長	児玉 隆行
担当者	都市計画G 金原 剛蔵	問合せ先	0957-53-4111 (内線431)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	長崎県・国土交通省への要望回数	回	10	13	8	8	8
②		目標値					

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	国道34号大村諫早拡幅進捗率 (事業費ベース：全体160億円)	%	0	0	0.3	2	5
②	国道34号大村拡幅進捗率 (事業費ベース)	%	96	96	97	97.5	98

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	2,650	3,341	3,082	2,934	2,934	2,934	17,875
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	2,650	3,341	3,082	2,934	2,934	2,934	17,875
人件費	6,430	6,153	6,530	6,430	6,430	6,430	38,405
職員(人)	0.81人	0.71人	0.81人	0.81人	0.81人	0.81人	4.76人
時間外勤務(h)	270h	495h	320h	270h	270h	270h	1,895h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	9,080	9,494	9,612	9,364	9,364	9,364	56,280

妥当性 (市の関与)	国道34号は、県央地域の産業振興、地域活動の中核となる主要幹線道路である。慢性的な渋滞が発生している国道34号(大村-諫早間)は、一日も早い安全な交通環境の整備が求められており、積極的な要望活動は重要かつ必要なものである。
有効性 (施策貢献度)	全国的に道路事業費が縮小・削減されている中で、市内の幹線道路改良工事は、目標年度完成へ向けた事業予算が確保されており、事業の進捗とともに、要望活動の効果が現れている。
効率性 (コスト)	国等へ要望している国道34号大村拡幅整備や都市計画道路池田沖田線、木場スマートインターチェンジの整備においても事業予算が確保され、計画どおりに事業が進んでいる。特に、国道34号大村-諫早間の新規事業化については、県央都市圏における交通ネットワークの重要な幹線道路であり、県央地域の発展に大きく貢献することから、さらなる要望活動を展開していくこととしており、要望活動費の削減はできない。(平成24年度から200千円削減)

1次評価	担当者の意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--